

〔資料：土地分類基本調査，表層地質図（広島），昭和54年3月，広島県
土地分類基本調査，表層地質図（加計），昭和63年3月，広島県〕

図 3-1-7 地質図

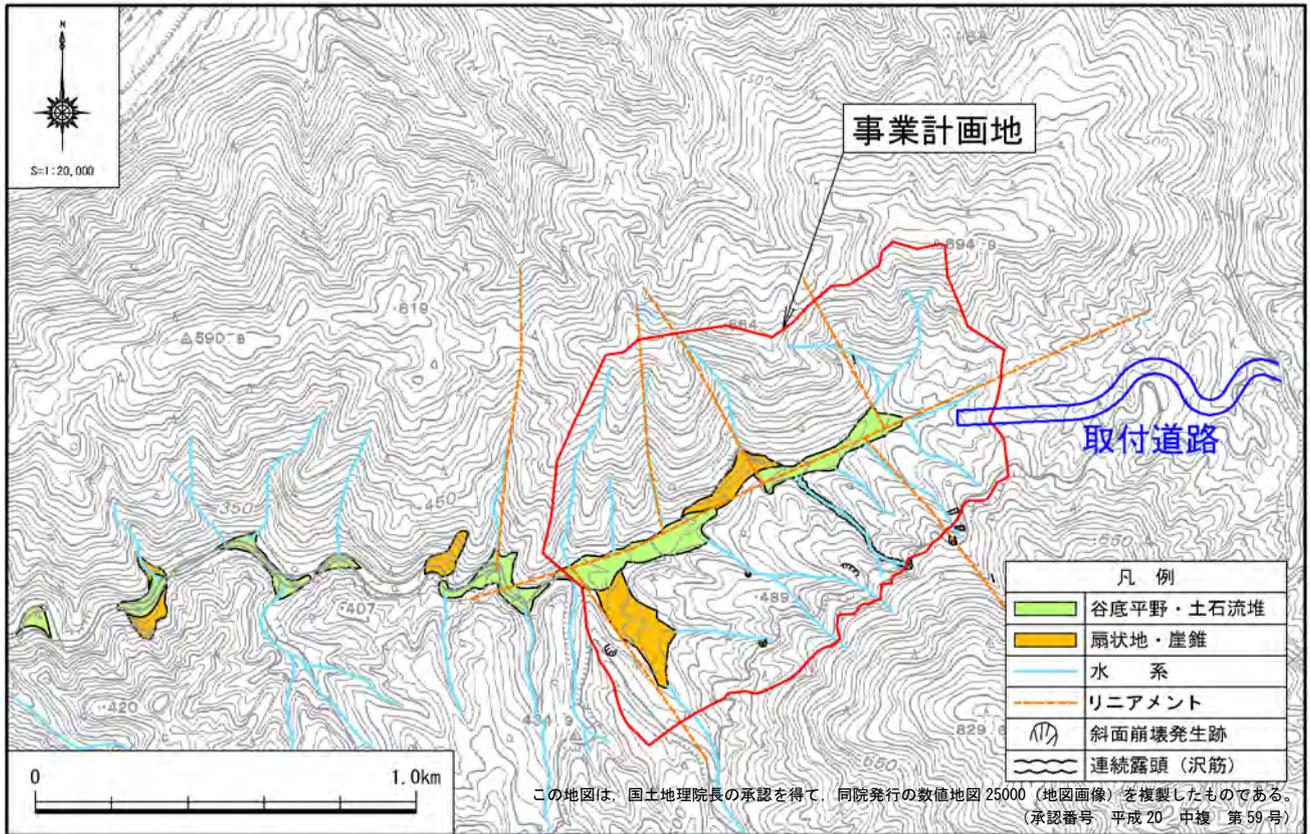


図 3-1-8 地形図(事業計画地)

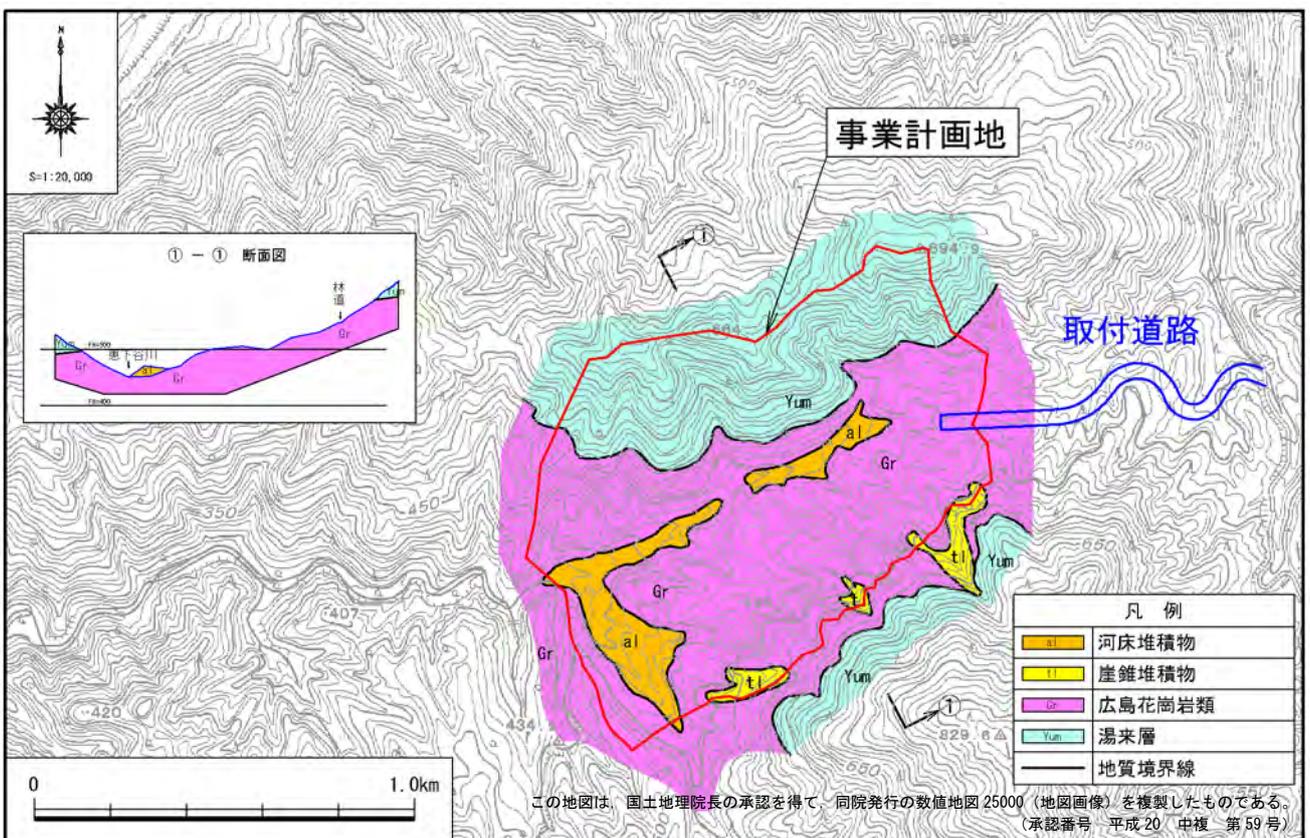
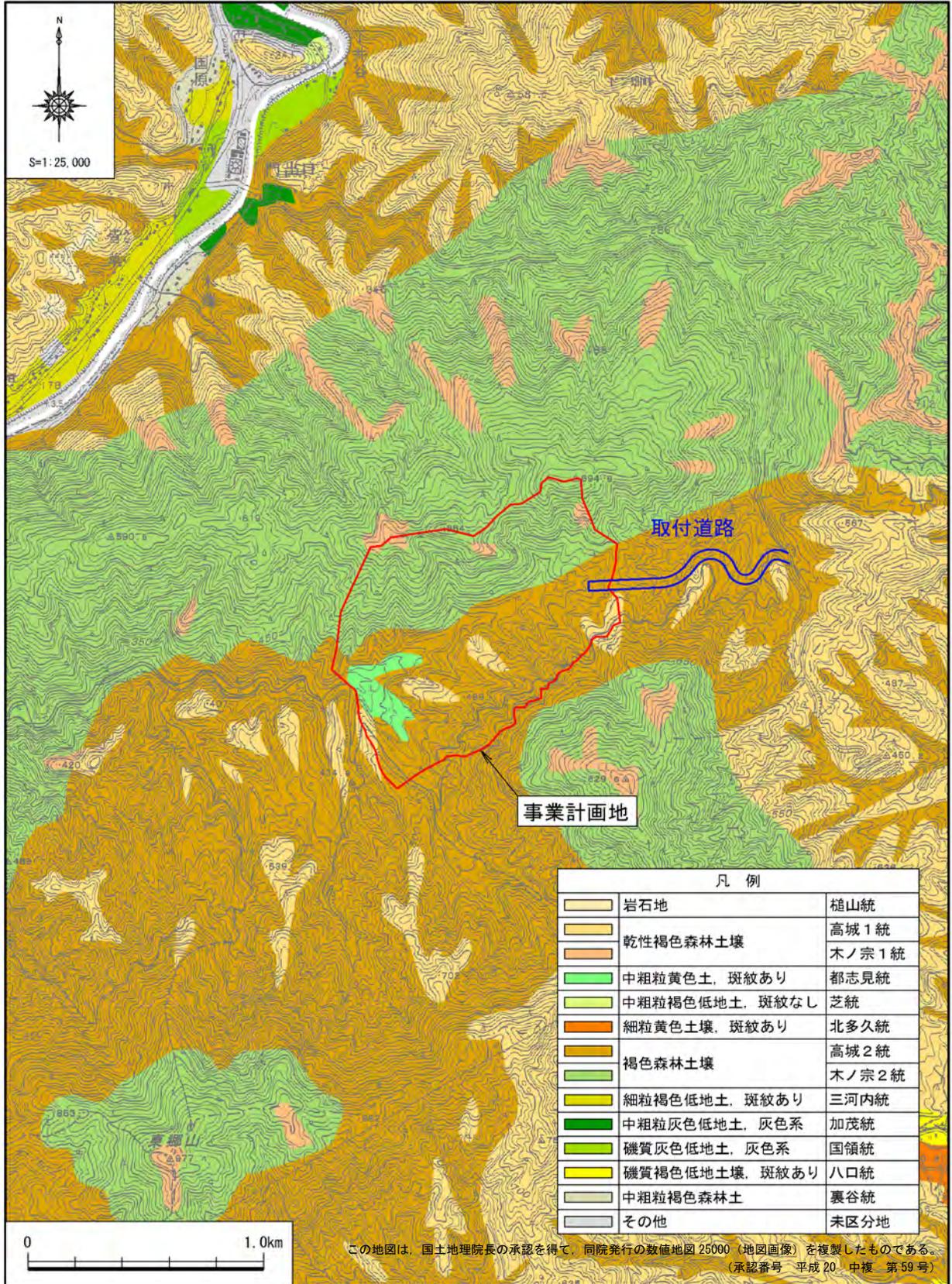
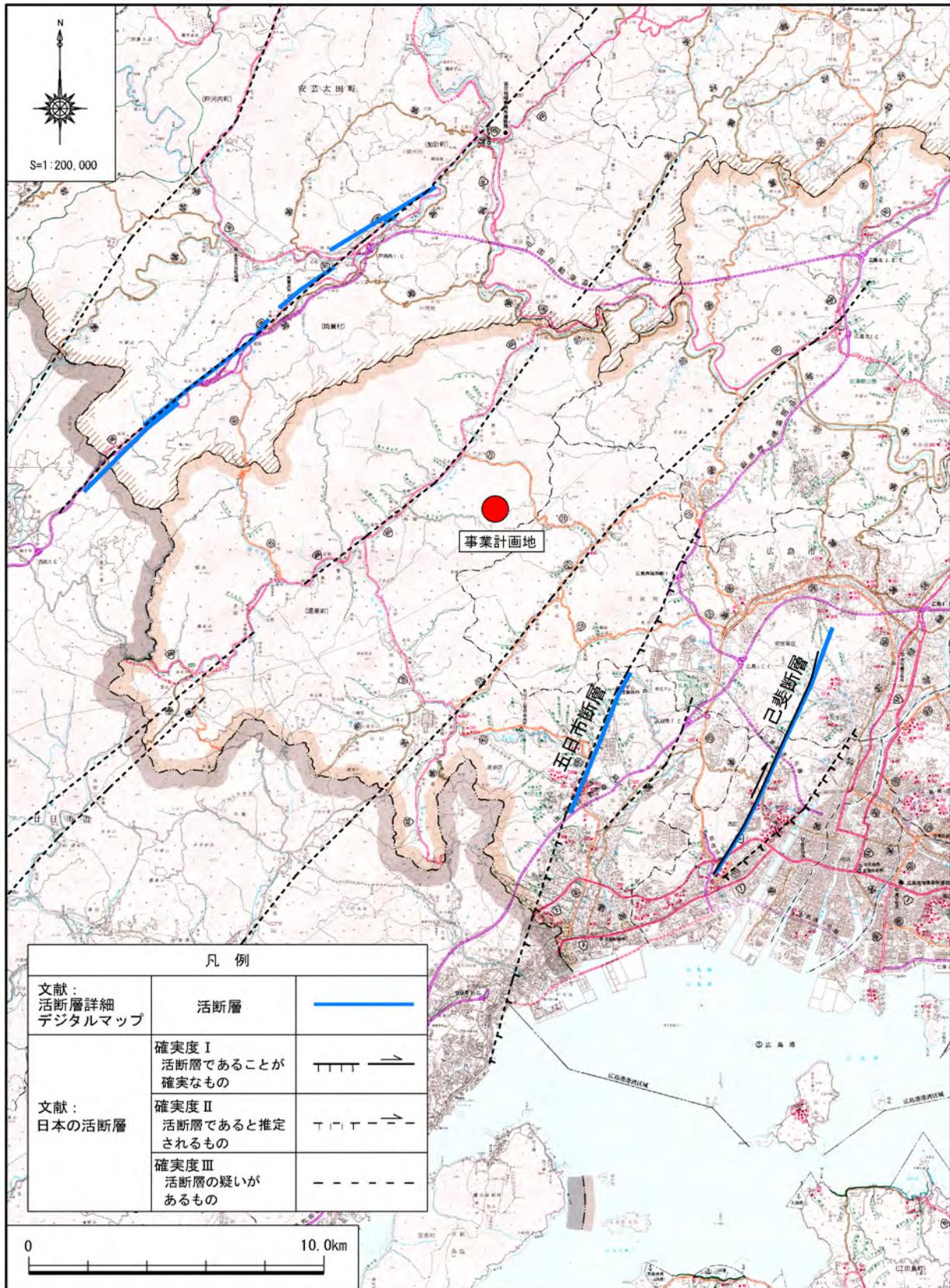


図 3-1-9 地質図(事業計画地)



〔資料：土地分類基本調査，土壌図（広島），昭和54年3月，広島県
土地分類基本調査，土壌図（加計），昭和63年3月，広島県〕

図 3-1-10 土壌図



[資料：新編 日本の活断層，1991年，活断層研究会
活断層詳細デジタルマップ，2002年，東京大学出版会]

図 3-1-11 活断層位置図

3-1-4 生物環境

(1) 動物

① 文献調査結果

事業計画地周辺における「広島市の生物 補遺版」(平成 18 年:広島市)掲載種の確認記録がある動物は、表 3-1-15に示すとおりであり、ツキノワグマ、ニホンモモンガ、クマタカ、ハンジロギセルの 4 種です。

② 既往調査結果 (平成18年度)

事業計画地周辺において、平成 18 年度に実施した現地調査で確認された注目すべき動物は、表 3-1-16、図 3-1-12に示すとおりであり、アカショウビン、ニホントカゲ、ブチサンショウウオ、キノボリトタテグモの 4 種が確認されました。

(2) 植物

① 文献調査結果

事業計画地周辺における「広島市の生物 補遺版」(平成 18 年:広島市)掲載種の確認記録がある植物は、表 3-1-17に示すとおりであり、維管束植物 10 種、コケ植物 7 種、地衣類 1 種、菌類 1 種、巨樹 2 本、合計 21 項目です。

② 既往調査結果 (平成18年度)

事業計画地周辺において、平成 18 年度に実施した現地調査で確認された注目すべき植物は、表 3-1-18、図 3-1-13に示すとおりであり、植物 11 種、大径木 3 本、群落 2 か所が確認されました。

表 3-1-15 注目すべき動物（文献調査結果）

分類群	和名	希少性の指標※1						確認記録箇所
		文化財	保存法・ 保護条例	国 RDB	県 RDB	市 RDB	国 RL	
哺乳類	ツキノワグマ		県	西中国地域 地域個体群	絶滅危惧 I 類	情報不足	西中国地域 地域個体群	旧湯来町全域に生息している可能性あり。
	ニホンモモンガ				準絶滅危惧	情報不足		東郷山山頂周辺のブナ林帯
鳥類	クマタカ		国	絶滅危惧 IB 類	絶滅危惧 I 類	情報不足	絶滅危惧 IB 類	東郷山などの 900m から 1,000m の山々には比較的良好な広葉樹林が残されており、 (中略) クマタカの姿も見られた
貝類	ハンジロギセル			絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	絶滅危惧 I 類	恵下で記録があるが現状は不明である。

※1 希少性の指標とした法令・文献およびカテゴリーの名称は以下のとおり。

文化財：『文化財保護法』（1950. 法律 214）に基づく「天然記念物」

保存法：『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年：法律第 75 号）に基づく「国内希少野生動植物種」

保護条例：『広島県野生生物の種の保護に関する条例』（平成 6 年：条例第 1 号）に基づく「指定野生生物種」

国 RDB：『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 2 鳥類』（平成 14 年：環境省）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 3 両生・爬虫類』（平成 12 年：環境庁）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 5 昆虫類』（平成 18 年：環境省）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 7 クモ形類・甲殻類等』（平成 18 年：環境省）記載種

県 RDB：『改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003』（平成 16 年：広島県）記載種
絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種。

絶滅危惧 IA 類：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。

絶滅危惧 IB 類：IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

絶滅危惧 II 類：絶滅の危険が増大している種。

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。

情報不足：評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群（絶滅のおそれのある地域個体群）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの。

市 RDB：『広島市の生物』（平成 12 年，広島市），「広島市の生物 補遺版」（平成 18 年，広島市）記載種

絶滅危惧：絶滅の危険性の高いもの

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱なもの

軽度懸念：市域では、存続基盤が比較的安定している

情報不足：希少な種であるが、市域での現状が不明である

環境指標種：重要な自然環境を積極的に保全する（絶滅の危険性は大きくない）

国 RL：『修正版レッドリスト 哺乳類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト 鳥類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト 貝類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）記載種

表 3-1-16 注目すべき動物（既往調査結果）

分類	項目	希少性の指標※1						備考
		文化財	保存法・ 保護条例	国 RDB	県 RDB	市 RDB	国 RL	
鳥類	アカシヨウビン					情報不足		事業計画地内で初夏に鳴き声のみ確認
爬虫類	ニホントカゲ				準絶滅危惧	準絶滅危惧		事業計画地内及び事業計画地周辺で個体を 確認
両生類	ブチサンシヨウウオ						準絶滅危惧	事業計画地内で個体(成体・幼生)を確認
クモ形類	キノボリトタテグモ			準絶滅危惧	準絶滅危惧	軽度懸念	準絶滅危惧	事業計画地内で個体及び巣を確認

※1 希少性の指標とした法令・文献およびカテゴリーの名称は以下のとおり。

文化財：『文化財保護法』（1950. 法律 214）に基づく「天然記念物」

保存法：『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年：法律第 75 号）に基づく「国内希少野生動植物種」

保護条例：『広島県野生生物の種の保護に関する条例』（平成 6 年：条例第 1 号）に基づく「指定野生生物種」

国 RDB：『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 2 鳥類』（平成 14 年：環境省）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 3 両生・爬虫類』（平成 12 年：環境庁）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 5 昆虫類』（平成 18 年：環境省）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 7 クモ形類・甲殻類等』（平成 18 年：環境省）

『鳥類，爬虫類，両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて』（H18. 12. 22：環境省）記載種

県 RDB：『改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003』（平成 16 年：広島県）記載種

絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種。

絶滅危惧 IA 類：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。

絶滅危惧 IB 類：IA 類ほどではないが，近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

絶滅危惧 II 類：絶滅の危険が増大している種。

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。

情報不足：評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群（絶滅のおそれのある地域個体群）：地域的に孤立している個体群で，絶滅のおそれの高いもの。

市 RDB：『広島市の生物』（平成 12 年，広島市），『広島市の生物 補遺版』（平成 18 年，広島市）記載種

絶滅危惧：絶滅の危険性の高いもの

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱なもの

軽度懸念：市域では，存続基盤が比較的安定している

情報不足：希少な種であるが，市域での現状が不明である

環境指標種：重要な自然環境を積極的に保全する（絶滅の危険性は大きくない）

国 RL：『修正版レッドリスト 鳥類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト 爬虫類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト 両生類（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト その他無脊椎動物（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）記載種

表 3-1-17 注目すべき植物（文献調査結果）

分類群	和名	希少性の指標 ^{※1}						確認記録箇所	
		文化財	保存法・ 保護条例	国 RDB	県 RDB	市 RDB	国 RL	恵下周辺 (恵下谷川流域を含む)	東郷山
維管束植物	クラガリシダ			絶滅危惧 IB 類	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	絶滅危惧 IB 類	○	
	イワオモダカ				絶滅危惧 II 類	情報不足		○(近年未確認)	
	コウヤマキ					環境指標		○	○
	ブナ					環境指標			○
	オキナグサ			絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧	絶滅危惧 II 類	○(近年未確認)	
	ハナナズナ			絶滅危惧 IA 類	絶滅	絶滅	絶滅危惧 IA 類	○(戦前の記録)	
	アテツマンサク			準絶滅危惧		軽度懸念	準絶滅危惧	○	
	テツカエデ				準絶滅危惧	準絶滅危惧			○
	ナツアサドリ					準絶滅危惧		○	
マツムシソウ					絶滅		○(戦前の記録)		
コケ植物	ホソベリミズゴケ			情報不足	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	情報不足	○	
	キセルゴケ				絶滅危惧 I 類	情報不足		○	
	クマノチョウジゴケ				絶滅危惧 I 類	情報不足		○	
	ソリシダレゴケ					絶滅危惧		○	○
	ヒロハシノブイトゴケ			絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧	準絶滅危惧	○	
	コウヤトゲハイゴケ				絶滅危惧 II 類	絶滅危惧		○	○
	カビゴケ			絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧	準絶滅危惧	○	
地衣類	ヘラガタカブトゴケ					情報不足		○	
菌類	ウスキブナノミタケ					情報不足			○
巨樹	四本スギ	旧湯来町				○			○
	恵下谷のモミ					○		○	

※1 希少性の指標とした法令・文献およびカテゴリーの名称は以下のとおり。

文化財：『文化財保護法』（1950. 法律 214）に基づく「天然記念物」

保存法：『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年：法律第 75 号）に基づく「国内希少野生動植物種」

保護条例：『広島県野生生物の種の保護に関する条例』（平成 6 年：条例第 1 号）に基づく「指定野生生物種」

国 RDB：『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 8 植物 I（維管束植物）』（平成 12 年：環境庁）

『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 9 植物 II（維管束植物以外）』（平成 12 年：環境庁）記載種

県 RDB：『改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003』（平成 16 年：広島県）記載種

絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種。

絶滅危惧 IA 類：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。

絶滅危惧 IB 類：IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

絶滅危惧 II 類：絶滅の危険が増大している種。

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。

情報不足：評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群（絶滅のおそれのある地域個体群）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの。

市 RDB：『広島市の生物』（平成 12 年、広島市）、「広島市の生物 補遺版」（平成 18 年：広島市）記載種

絶滅危惧：絶滅の危険性の高いもの

準絶滅危惧：存続基盤が脆弱なもの

軽度懸念：市域では、存続基盤が比較的安定している

情報不足：希少な種であるが、市域での現状が不明である

環境指標種：重要な自然環境を積極的に保全する（絶滅の危険性は大きくない）

国 RL：『修正版レッドリスト（植物 I）維管束植物（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）

『修正版レッドリスト（植物 II）維管束植物以外（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）記載種

表 3-1-18 注目すべき植物（既往調査結果）

分類	項目	希少性の指標 ^{※1}					備考
		文化財	保存法・保護条例	国 RDB	県 RDB	市 RDB	
維管束植物	シノブ					環境指標	事業計画地周辺のみミ大木に着生
	クラガリシダ			絶滅危惧 IB 類	絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	事業計画地周辺で確認
	コウヤマキ					環境指標種	事業計画地内の3か所で確認
	イヌブナ					環境指標種	事業計画地内の1か所で確認
	カンアオイ sp.						事業計画地内で確認。ギフチョウ ^{※2} の食草
	テンナンショウ sp.			絶滅危惧 IA 類	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧	事業計画地内の2か所で計2株確認
	エビネ sp.			—	準絶滅危惧	—	オモゴウテンナンショウの場合 ヒガンマムシグサの場合 事業計画地内及び事業計画地周辺の5か所で、計55個体確認
コケ植物	ミズゴケ sp.			絶滅危惧 I 類	準絶滅危惧	環境指標種	事業計画地内において確認
	キヨスミイトゴケ			情報不足	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	オオミズゴケの場合 ホソバリモズゴケの場合
	ヒロハシノブイトゴケ			—	—	環境指標種	事業計画地内で確認
	カビゴケ			絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 I 類	絶滅危惧	事業計画地内の1か所で確認
大木	モミ						事業計画地周辺で確認。 緑の国勢調査(環境省)対象木、高さ約35m、胸高直径164cm
	スギ						事業計画地内で確認。高さ約30m、胸高直径120cm
	トチノキ						事業計画地内で確認。高さ約25m
群落	南側尾根のモミ林						事業計画地内で確認。高さ約30m、胸高直径約50cm、着生ラン(カヤラン)生育
	北側のモミ林						事業計画地内で確認。高さ約20m、胸高直径30cm~90cm

※1 希少性の指標とした法令・文献およびカテゴリーの名称は以下のとおり。
 文化財：『文化財保護法』（1950. 法律 214）に基づく「天然記念物」
 保存法：『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年：法律第 75 号）に基づく「国内希少野生動植物種」
 保護条例：『広島県野生生物の種の保護に関する条例』（平成 6 年：条例第 1 号）に基づく「指定野生生物種」
 国 RDB：『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 8 植物 I（維管束植物）』（平成 12 年：環境庁）
 『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 9 植物 II（維管束植物以外）』（平成 12 年：環境庁）記載種
 県 RDB：『改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003』（平成 16 年：広島県）記載種
 絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種。
 絶滅危惧 IA 類：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
 絶滅危惧 IB 類：IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
 絶滅危惧 II 類：絶滅の危険が増大している種。
 準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。
 情報不足：評価するだけの情報が不足している種。
 地域個体群（絶滅のおそれのある地域個体群）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの。
 市 RDB：『広島市の生物』（平成 12 年、広島市）、「広島市の生物 補遺版」（平成 18 年：広島市）記載種
 絶滅危惧：絶滅の危険性の高いもの
 準絶滅危惧：存続基盤が脆弱なもの
 軽度懸念：市域では、存続基盤が比較的安定している
 情報不足：希少な種であるが、市域での現状が不明である
 環境指標種：重要な自然環境を積極的に保全する（絶滅の危険性は大きくない）
 国 RL：『修正版レッドリスト（植物 I）維管束植物（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）
 『修正版レッドリスト（植物 II）維管束植物以外（環境省報道発表資料）』（平成 19 年：環境省）記載種
 ※2 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック5（昆虫類）」（平成18年：環境省）：絶滅危惧 II 類、県RDB：準絶滅危惧、市RDB：絶滅危惧
 ※3 sp. とは、ラテン語の種(Species)の略号で、その属の1種を示す。

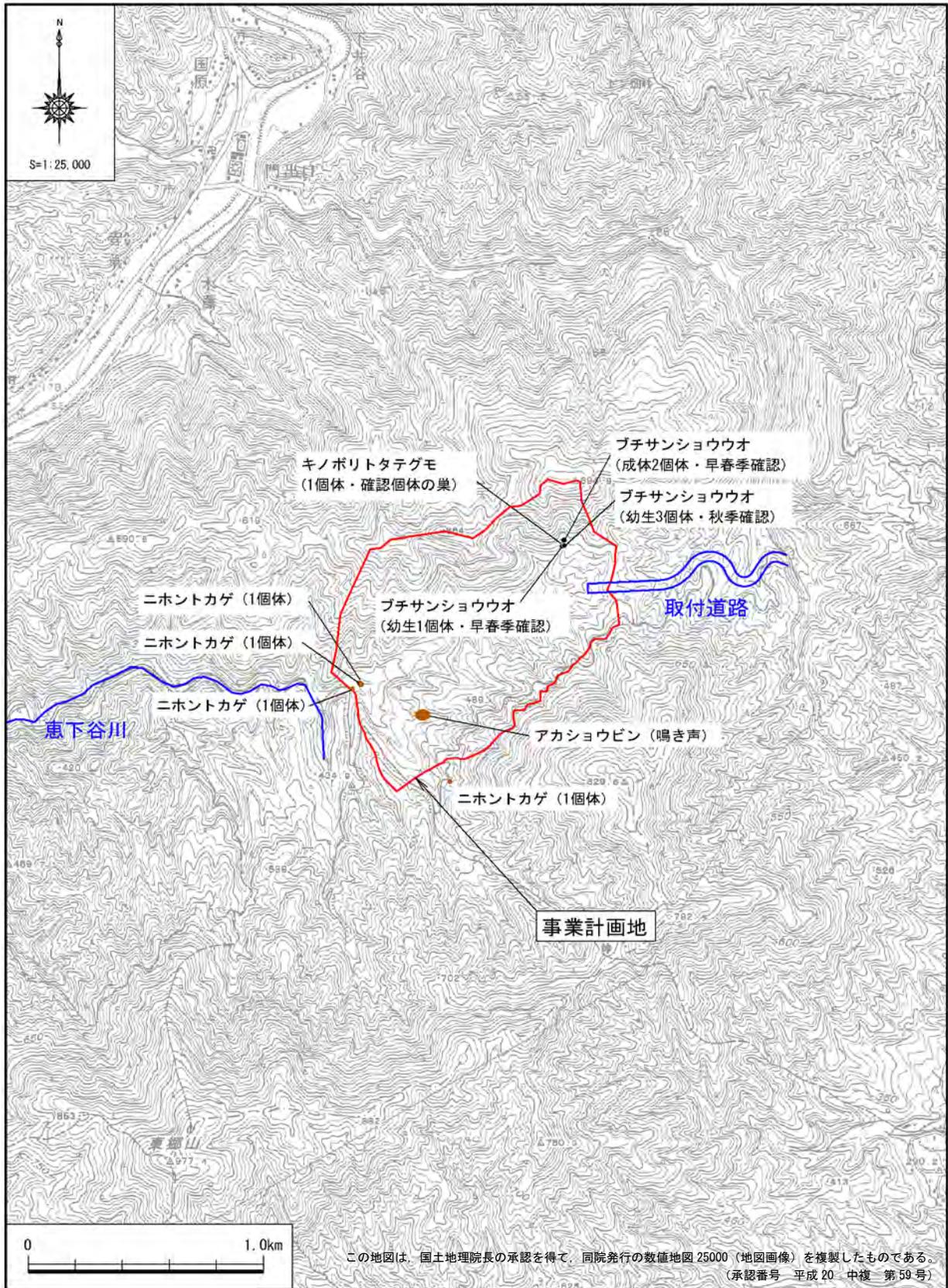


図 3-1-12 注目すべき動物（現地概査結果）

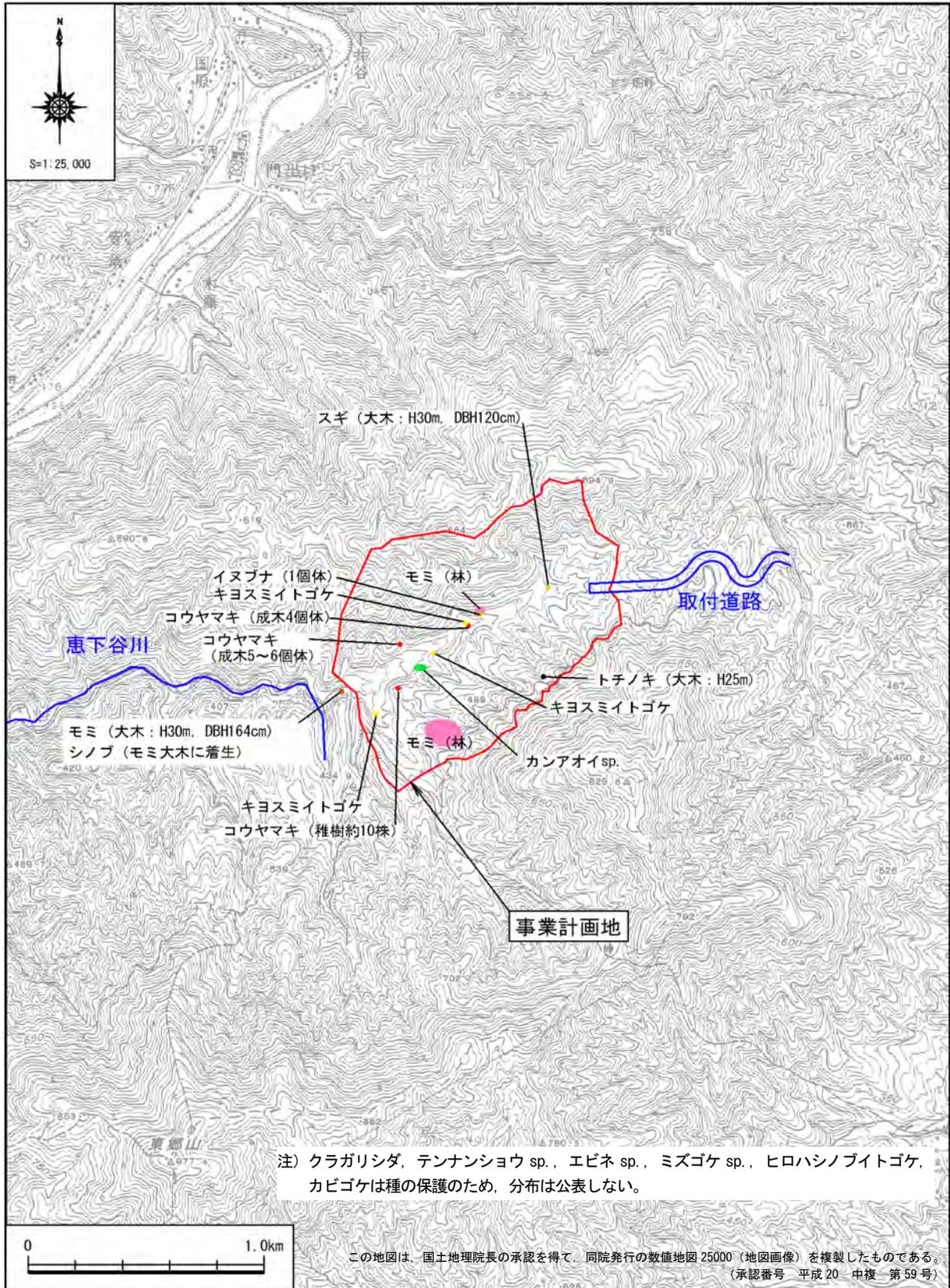


図 3-1-13 注目すべき植物 (現地概査結果)

3-1-5 景観等

(1) 景観

事業計画地周辺は、広島市の景観保護条例等による保護・規制区域に該当しません。

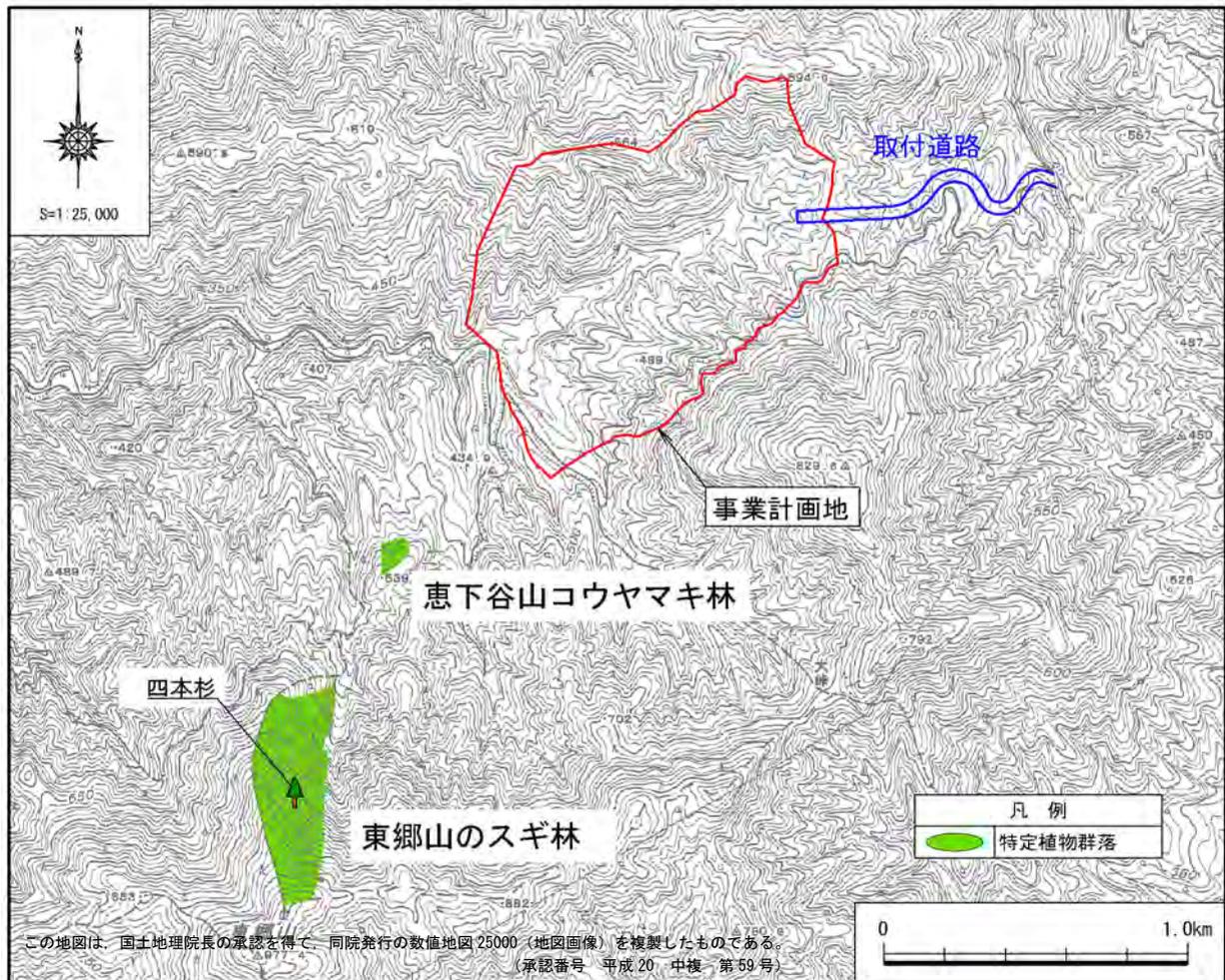
また、事業計画地周辺の自然景観資源は、表 3-1-19、図 3-1-14に示すとおり、恵下谷山コウヤマキ林、東郷山のスギ林が挙げられます。

事業計画地周辺には、事業計画地を眺望できる自然との触れ合い活動の場となる施設等がないことから、主要な眺望地点は恵下谷林道及び東郷山登山道の沿道からとなります。

表 3-1-19 自然景観資源

自然景観資源名	名称	選定基準
特定植物群落	恵下谷山コウヤマキ林	原生林もしくはそれに近い自然林
	東郷山のスギ林	原生林もしくはそれに近い自然林

[資料：第3回自然環境保全基礎調査 広島県自然環境情報図，平成元年，環境庁]



[資料：第3回自然環境保全基礎調査 広島県自然環境情報図，平成元年，環境庁
太田川森林計画区 国有林野施業実施計画図，広島森林管理署]

図 3-1-14 自然景観資源位置図

(2) 自然との触れ合い活動の場

事業計画地周辺には、自然との触れ合い活動の場として、図 3-1-15に示すとおり、東郷山登山道があります。

(3) 文化財等

広島市内の指定文化財は、表 3-1-20に示すとおり、153件存在します。

また、事業計画地周辺における文化財等は、表 3-1-21、表 3-1-22、図 3-1-15に示すとおりであり、事業計画地周辺には文化財等は存在しません。

表 3-1-20 指定文化財

区分		国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	建造物	7 (うち国宝1)	1	13	21
	美術工芸品	9	11	50	70
無形文化財		-	-	-	-
有形民俗文化財		1	-	-	1
無形民俗文化財		-	2	5	7
記念物	史跡	4	14	6	24
	名勝	2	1	-	3
	天然記念物	1	6	20	27
合計		24	35	94	153

[資料：広島市ホームページ（平成19年5月28日現在）]

表 3-1-21 事業計画地周辺の指定文化財一覧表

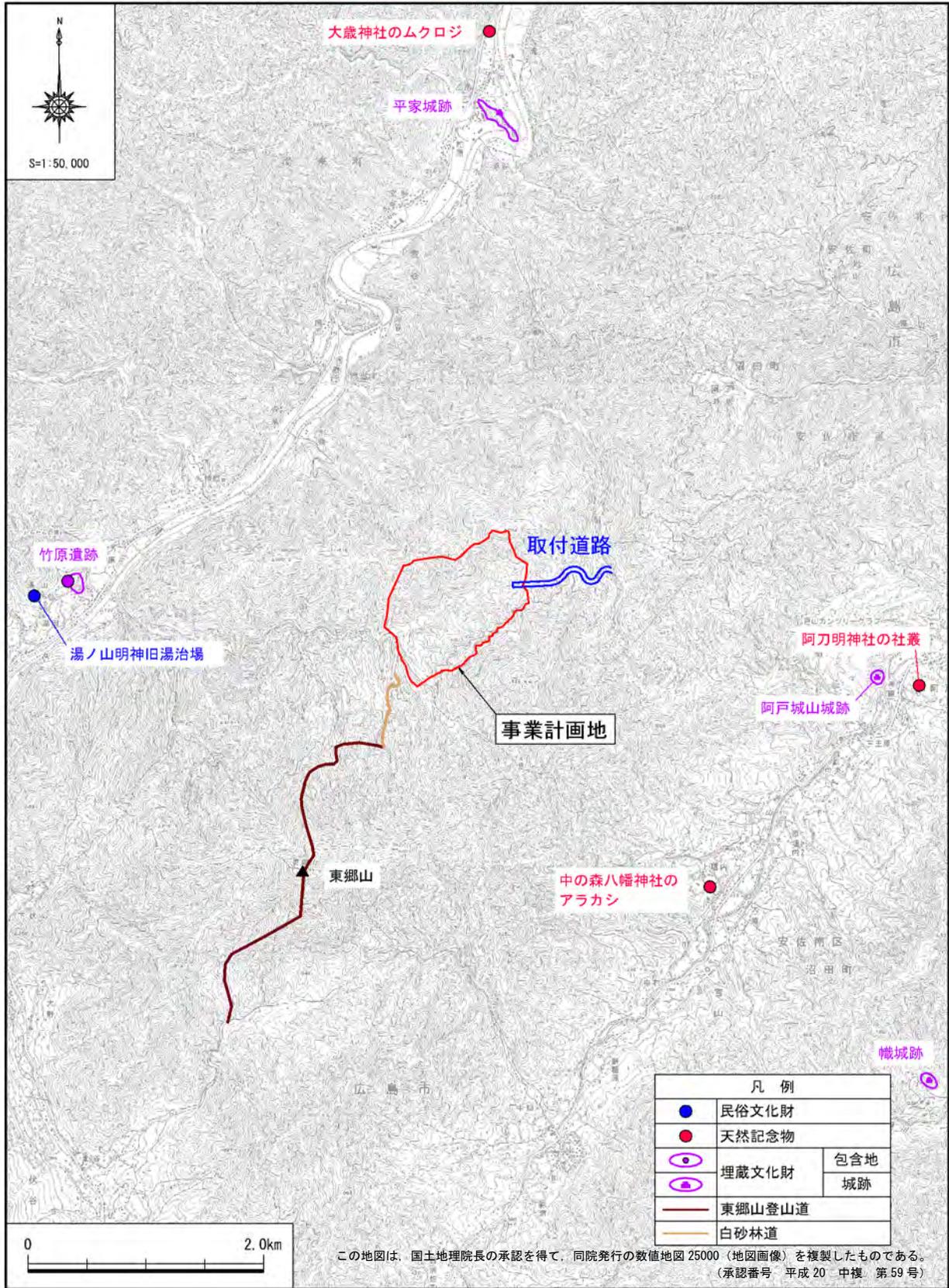
種別	名称	指定別	指定年月日	所在
民俗文化財	湯ノ山明神旧湯治場	国 重要有形民俗文化財	S49. 2. 18	広島市佐伯区湯来町和田湯の山
	神楽-五龍王- (水内神楽)	県 無形民俗文化財	S38. 4. 17	広島市佐伯区湯来町和田 (水内神楽保存会)
天然記念物	阿刀明神社の社叢	市 天然記念物	S49. 2. 18	広島市安佐南区沼田町阿戸殿山 (山御所阿刀明神社境内)
	中の森八幡神社の アラカシ	市 天然記念物	S50. 4. 14	広島市安佐南区沼田町吉山 (中の森八幡神社境内)
	大歳神社のムクロジ	市 天然記念物	H18. 3. 28	広島市佐伯区湯来町大字下 字長縄 (大歳神社)

[資料：広島市ホームページ（平成19年5月28日現在）]

表 3-1-22 事業計画地周辺の埋蔵文化財一覧表

種別	名称	時代	概要	所在
包含地	竹原遺跡	旧石器～古墳	土師器、安山岩剥片	広島市佐伯区湯来町和田
城跡	平家城跡	中世	郭、堀切	広島市佐伯区湯来町麦谷
	阿戸城山城跡	中世	郭、堀切	広島市安佐南区沼田町
	幟城跡	中世	郭、堀切、土塁、土橋	広島市佐伯区五日市町

[資料：広島県遺跡地図Ⅰ（大竹市・廿日市市・佐伯郡），1992年3月，広島県遺跡地図Ⅹ（広島市），2004年3月，広島県教育委員会]



広島県遺跡地図Ⅰ（大竹市・廿日市市・佐伯郡），1992年3月，
 広島県遺跡地図Ⅹ（広島市），2004年3月，広島県教育委員会

図 3-1-15 指定文化財・埋蔵文化財等位置図